

公益財団法人 日本サッカー協会
2016年度 第3回理事会

追認事項

<p>1. 日本人指導者海外派遣の件</p> <p>(追認) 資料No.1</p> <p>以下の各国サッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、以下の指導者、派遣先協会との新規契約をした。</p> <p>派遣指導者： 行徳 浩二(ぎょうとく こうじ)</p> <p>派遣先協会： ネパールサッカー協会 (ANFA)</p> <p>資格： JFA 公認 S 級コーチ (2002 年取得)</p> <p>役職： ネパール代表監督</p> <p>契約期間： 2016 年 3 月 1 日～2017 年 1 月 31 日</p> <p>費用負担： [JFA] 傷害保険料 [ANFA] 給与、住居、国内移動車両、日本-ネパール間の航空券</p> <p>略歴： 添付別紙のとおり</p> <p><背景及び実施理由></p> <p>2016 年 2 月より ANFA の技術委員長として武田千秋氏を派遣中だが、ANFA より新たに代表監督派遣の打診を受けた。背景には ANFA が前任のベルギー人監督との契約更新を断念したことがある。過去に J リーグクラブやブータン代表監督、タイのクラブの監督を務めるなど日本・アジアにおける指導実績が豊富な行徳氏の派遣を打診し、2 月下旬の現地事前出張、打ち合わせを経て ANFA が受諾した。ネパール代表チームは 3 月 27 日にマレーシア代表との親善試合をクアラルンプールにて実施予定とのことで、ANFA より 3 月第一週の赴任を要請されたため、追認事項としての附議となったもの。</p>
<p>2. AFC ドリームアジアアウォーズ 2015 推薦の件</p> <p>アジアサッカー連盟 (AFC) が主催する「AFC ドリームアジアアウォーズ 2015」の NGO、団体、個人の部に以下の団体を推薦した。</p> <p>今回の AFC ドリームアジアアウォーズは、2015 年 11 月開催された AFC アニュアルアウォーズで表彰された AFC 加盟協会賞 (日本、中国、ベトナムが受賞) に続くもので、社会貢献活動を行う NGO、団体、個人を対象としている。</p> <p>【推薦団体】 一般社団法人 J リーグ選手 OB 会</p> <p>【推薦理由】</p> <p>当該団体は、J リーグの承認のもとに 2009 年 10 月に設立され、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーを通じた青少年の育成活動による社会貢献 ・サッカーの普及促進 ・日本サッカーの水準向上に向けた育成支援 <p>を理念として活動しており、以下の方針に従って継続した活動を行っている。</p>

- ・ Jリーグ経験者の集団として、サッカーの魅力を全国に伝えること
- ・ プロフェッショナルとして得た経験と技術を全国に伝えること
- ・ サッカーを身近に感じて頂くための機会を提供すること

2015年の主な実績は以下の通り。

① 社会貢献活動／サッカー普及活動

J-OB フットボールクリニック 10回（延約700名の小学生）

② J-OB 派遣事業

・ Jリーグ MY サッカー教室への「MY ドリームチーム」派遣 20回（延約2,000名の小学生）

・ 東京都 OPPP 教育推進事業「夢・未来」プロジェクト（学校授業への講師派遣） 9回

・ Jリーグ／パートナー関連の社会貢献イベント等 12回

以上の通り、2009年から元プロ選手が地道な社会貢献活動を継続していることを評価し、当該団体を推薦した。

なお、AFC への推薦の締め切りが3月8日であったため、既に推薦済み。